2022年非鉄リサイクルの事業展望

日本アルミニウム合金協会
北山 悟会長

自動車生産回復に期待

――昨年の活動実績を。

「理事会や委員会などの活動は、ウェブ会議を活用して実施し、3級溶解技能者認定試験をはじめ、分析用標準試料の作製や技術調査研究事業についても、おおむね予定通り実施した。7月には日本ダイカスト協会との共同研究してきた『アルミ・マグネシウム合金系ダイカストの使いこなし及び製造技術向上に関する調査・研究』について研究報告書を発刊した。ただ、新型コロナの影響を受けて、例年5月の総会やパーティー、懇親関係の催しは昨年に引き続きやむを得ず中止した」

――会員各社の生産販売の推移や、需要動向などを振り返って。

「まず需要は、昨年トンネルが1万7724・5㌦を付け、10年3カ月ぶりに最高値を更新し、アルミも10月には3180㌦と過去最高値に迫った。指標相場の急騰で扱い筋各社は収益拡大の恩恵を受けたが、一方でスクラップの市中発生は伸び悩み、輸出勢の積極買いも加わって国内勢が思った様に集荷できない場面が多く見られた。今年は、マレーシアが輸入制度を改革し、低品位のモノを排除し、高品位のスクラップだけの受け入れにシフトする見通し。さらに3月にはスクラップのウワ物の輸入規格をスタートさせ、対日購買を拡大させる見込み。高品位のスクラップは海外勢との取り合いが激しくなり、一方で低品位は新たな処理ルートの開拓が求められる。業界団体のトップに足元の状況や課題を聞いた。

昨年、ロンドン金属取引所（LME）銅相場は5月にセツルメントが1万724・5㌦を付け、10年3カ月ぶりに最高値を更新し、アルミも10月には3180㌦と過去最高値に迫った。指標相場の急騰で扱い筋各社は収益拡大の恩恵を受けたが、一方でスクラップの市中発生は伸び悩み、輸出勢の積極買いも加わって国内勢が思った様に集荷できない場面が多く見られた。今年は、マレーシアが輸入制度を改

――昨年の生産販売の推移や、需要動向などを振り返って。

「まず需要は、昨年トンネルが1万7724・5㌦を付け、10年3カ月ぶりに最高値を更新し、アルミも10月には3180㌦と過去最高値に迫った。指標相場の急騰で扱い筋各社は収益拡大の恩恵を受けたが、一方でスクラップの市中発生は伸び悩み、輸出勢の積極買いも加わって国内勢が思った様に集荷できない場面が多く見られた。今年は、マレーシアが輸入制度を改革し、低品位のモノを排除し、高品位のスクラップだけの受け入れにシフトする見通し。さらに3月にはスクラップのウワ物の輸入規格をスタートさせ、対日購買を拡大させる見込み。高品位のスクラップは海外勢との取り合いが激しくなり、一方で低品位は新たな処理ルートの開拓が求められる。業界団体のトップに足元の状況や課題を聞いた。

非鉄金属リサイクル全国連合会
橋本 健一郎会長

需給タイトの可能性も

――昨年を振り返って。

「最悪を想定し、最善を尽くした1年だった。1年を通じて新型コロナの感染拡大に悩まされたが、一昨年からの経験や学びもあり、感染対策を講じて開催できる行事が何点かあったことが嬉しかった。まずは全連の理事会。もう1つは東海非鉄リサイクル協同組合主催のオンラインセミナーへの参加。そして、開催直前で断念した東京（両国）での総会だ。理事会は、通常より広い会議室でパーテーションを用いて10人程度で開催した。オンラインセミナーは、ZOOMを活用して100人の参加があった。総会に関しては、ただ開催が中止となった。総会に関しては、東京非鉄金属商工協同組合の皆さんや事務局に色々と準備して頂いたが、残念ながら全国的な新型コロナの感染者増加により東京での開催を断念した。

――今年の全連の活動計画を。

「年始は、LME銅がトン7800㌦、銅建値は84万でスタートした。諸々のワクチン問題（副作用・回数・引所（LME）銅相場や建値など、非鉄全般の市況を振り返って。

「年始は、LME銅がトン7800㌦、銅建値は84万でスタートした。諸々のワクチン問題（副作用・回数・引所（LME）銅相場や建値など、非鉄全般の市況を振り返って。

「年始は、LME銅がトン7800㌦、銅建値は84万でスタートした。諸々のワクチン問題（副作用・回数・

らも会議を開催でき、開催に向けて尽力して頂いた会員の皆様や事務局の方々には大変感謝している」

――ロンドン金属取引所（LME）銅相場や建値など、非鉄全般の市況を振り返って。

「年始は、LME銅がトン7800㌦、銅建値は84万でスタートした。諸々のワクチン問題（副作用・回数・

けて、ついに大台の1万㌦台突破した。7―9月は東京五輪対策で各国が右往左往する中でも9000㌦台を維持し、10―12月は中国政府による環境政策や新型コロナの変異種の出現など様々な問題が出たが、9000㌦台（12月20日時点）を維持した」

――スクラップは。

動計画を。

「全連の総会は北陸非鉄金属リサイクル商工業会が担当する。こ

格差を含みながらも、欧米を中心に接種者数が増え、重症化率も低下し、3月には9000㌦台を突破した。4―6月もワクチン普及に加え、米中を中心とした金融緩和策を受けて、市中相場も基本的に右肩上がりで推移した。ただ相場が高値安定で推移する中で『上がって出ず、下がって出ず』の状況が続き、スクラップ問屋各社や非鉄メーカーなどが原料不足に陥った。11―12月には新型コロナの変異種への警戒感から相場が下落した影響で、多少は市中在庫が放出されたようだが、それでもタイト感は変わらず引き締まった状態が続いた」

――今年の全連の活動計画を。

「全連の総会は北陸非鉄金属リサイクル商工業会が担当する。こ

につられて、市中相場も基本的に右肩上がりで推移した。ただ相場が高値安定で推移する中で『上がって出ず、下がって出ず』の状況が続き、スクラップ問屋各社や非鉄メーカーなどが原料不足に陥った。11―12月には新型コロナの変異種への警戒感から相場が下落した影響で、多少は市中在庫が放出されたようだが、それでもタイト感は変わらず引き締まった状態が続いた」

――今年の全連の活動計画を。

「全連の総会は北陸非鉄金属リサイクル商工業会が担当する。こ

れまで総会は、地域の特性を生かした開催をモットーとしてきた経緯があるので、今回は温泉があるエリアを予定している。その他には、年2回の理事会や青年部の全国工場見学会、各種セミナーなども感染対策を講じた上で順次開催していく」

――今年の相場や需要見通しを。

「新型コロナ＝（イコール）不景気ではなく、業種間の格差不景気ということが昨年で証明されたのではないか。そこから考えれば、今年は飲食や旅行業界などの不景気は続くが、在宅ワークや日常生活に関連する家電、自動車、住宅リフォームなどは通常時より需要が増える。ただ、供給側の課題も残されている。新型コロナによるロックダウンや工場の操業停止などの影響で部品の輸出入が停滞し、自動車や給湯、ゲーム機器などのバックオーダー（3カ月―1年待ち）に代表されるような状態が続いている。これらの生産減少が解消されるまでは、非鉄製品の原料となるスクラップの需要は大きく伸びず、需給も比較的緩むのではないか。ただ、その後に挽回生産が本格化すれば、スクラップ需給も一気に引き締まる可能性が高い。LME相場については、コロナの変異種の感染拡大や北京オリンピックの欧米中の対立、米中の金融政策、各国の原材料高騰の抑制策など問題は山積みだ。それらを考慮すると、上値は最高値には届かず1万㌦近辺、下値は昨年のスタート時の8000㌦近辺を予想する」

（石橋 栄作）

新春インタビュー

伸銅品・軽金属
電線・其他非鉄金属
古河電気工業株式会社指定問屋
ISO14001認証取得　2000年10月20日
ISO9001認証取得　2007年8月3日
春田産業株式會社
取締役社長　春田 英男
本社 大阪市東成区大今里3丁目13番23号
電話06（6971）6631（代表）

非鉄金属素材及び加工品販売
オフィス家具製作、販売
アルミ型材加工、販売
ECOTT
イーコット株式会社
代表取締役社長　田邊 一也
本社／〒537-0002 大阪市東成区深江南2-20-16トミヤビル3F
TEL06-6972-8801　FAX06-6974-7062
http://www.ecott.co.jp
ISO 14001 認証取得　2004年9月22日

H.K.C. 株式会社林金属工業所
三井金属鉱業㈱原料指定問屋
代表取締役社長　林 泰伸
再生亜鉛精煉業
ISO9001:2015認証取得
（登録範囲）再生亜鉛地金、亜鉛合金地金の設計・開発及び加工・生産
亜鉛スクラップ類産業廃棄物の中間処理業・収集運搬業の認可企業
本社 堺市西区築港新町3丁27番地
〒592-8331 TEL（072）244－3444代表
FAX（072）247－2033
URLhttp://www.hayashi-metal.co.jp

電気亜鉛・蒸溜亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入
大阪亜鉛工業㈱
取締役社長　林 昭宏
本社 大阪市西淀川区佃4丁目14番3号
〒555-0001 TEL.06（6471）2531㈹
FAX.06（6471）5781
東京営業所 東京都墨田区立花2丁目4番5号
〒131-0043 TEL.03（3618）2351㈹

謹賀新年

非鉄金属材料販売
黄銅平角棒（熱間・冷間・カドミレス）
アルミ押出形材スパンドレル
アルミ形材加工
太和黄銅株式會社
代表取締役　生井 俊匡
東大阪市金物町4番7号
TEL06（6725）5261
FAX06（6725）3879

Ogico 産業資材の流通チャンネル
銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル
アルミ・非鉄金属全般
株式会社 扇谷
OHGITANI Corporation
本社 大阪市西区土佐堀1-3-7 肥後橋シミズビル
TEL.(06)6444-1521～1530（ダイヤルイン）
東京支店 東京都千代田区神田錦町3-15 NTF竹橋ビル
TEL.(03)5282-4800
名古屋支店 名古屋市千種区内山3-29-10 千種AMビル
TEL.(052)688-0557
海外 シンガポール、香港、タイ、マレーシア、フィリピン、台湾、中国・深圳、中国・上海、ベトナム
URL:http://www.ogico.co.jp

ホワイトメタル軸受
高純度金属
ウアロイ
レアメタル
半導体電子材料
株式会社大阪アサヒメタル工場
大阪アサヒ商事株式会社
取締役社長　安部 研
大阪市西成区南津守3-1-17
電話06（6658）0101
FAX06（6657）1922
http://www.asahimetal.co.jp/
大阪市北区豊崎5丁目6番2号
（北梅田大宮ビル4階）
電話06（6372）1261
FAX06（6372）2315
http://www.osaka-asahi.com/

鋳物用銅合金地金
日本工業規格認証工場
ISO 9001 認定取得
製造元 ミカゲ金属工業㈱
〒514-2302 三重県津市安濃町安濃字日暮2222－2
電話059－268－2206㈹
FAX059－268－1949
ISO 9001 認定取得
販売元 ミカゲ金属㈱
大阪本部 〒541-0059 大阪市中央区博労町3丁目6番7号三都ビル206
電話06－6244－3115㈹
FAX06－6244－3116
東大阪倉庫 〒577-0056 東大阪市長堂3丁目11番20号
電話06－6782－3115㈹
FAX06－6782－3143